

RESASからみた浜松市の人口

RESAS（リーサス、地域経済分析システム）は、まち・ひと・しごと創生本部事務局が地方自治体の様々な取り組みを情報面から支援するため、産業構造や人口動態、人の流れなどのビッグデータを集約し、可視化したシステムです。現在、RESASは「産業マップ」「地域経済循環マップ」「農林水産マップ」「観光マップ」「人口マップ」「消費マップ」「自治体比較マップ」の7つで構成されており、ます。

今回はその中の「人口マップ」の一部を利用して浜松市を分析してみたいと思います。

人口の社会増減

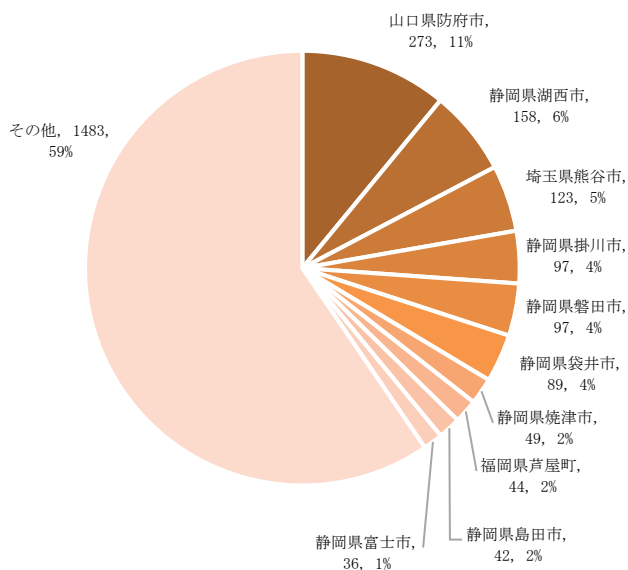
「人口の社会増減」をみると、転入超過数および転出超過数をそれぞれ円グラフで見ることができます。引用元は総務省の「住民基本台帳人口移動報告（2014年）」です。

まず、転入超過上位10地域をみると、山口県防府市が273人と最も多く、次いで静岡県湖西市の158人となりました。転入超過上位10地域のうち、県外は3地域、県内は7地域となっています。

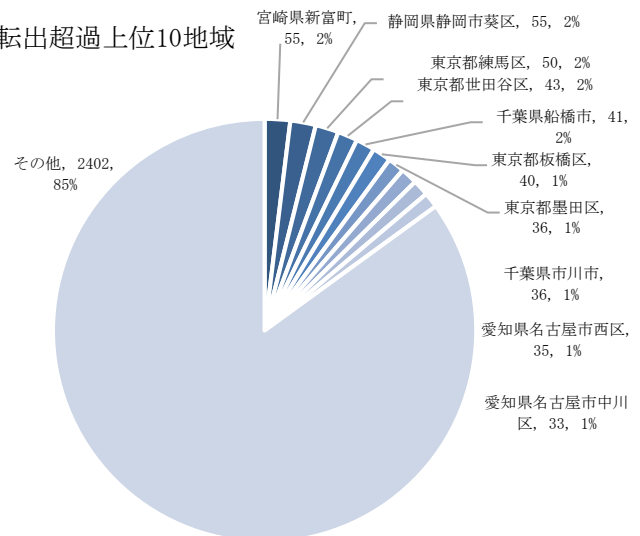
次に、転出超過上位10地域では、宮崎県新富町と静岡県静岡市葵区が並んで55人と最も多い地域となりました。転出超過10地域のうち、県外は9地域、県内は1地域でした。

転入および転出超過先の県外の行先をみると、近隣の他県や都市部ではない県が多数ありました。これらの地域を調べてみると、自衛隊の基地や駐屯地がある地域であることが分かりました。転入超過先では山口県防府市や埼玉県熊谷市、福岡県芦屋町が、転出超過先では宮崎県新富町や千葉県船橋市がこれに該当します。浜松市にも航空自衛隊があるため、航空自衛隊を介した人口移動がなされていると推測されます。

転入超過上位10地域



転出超過上位10地域



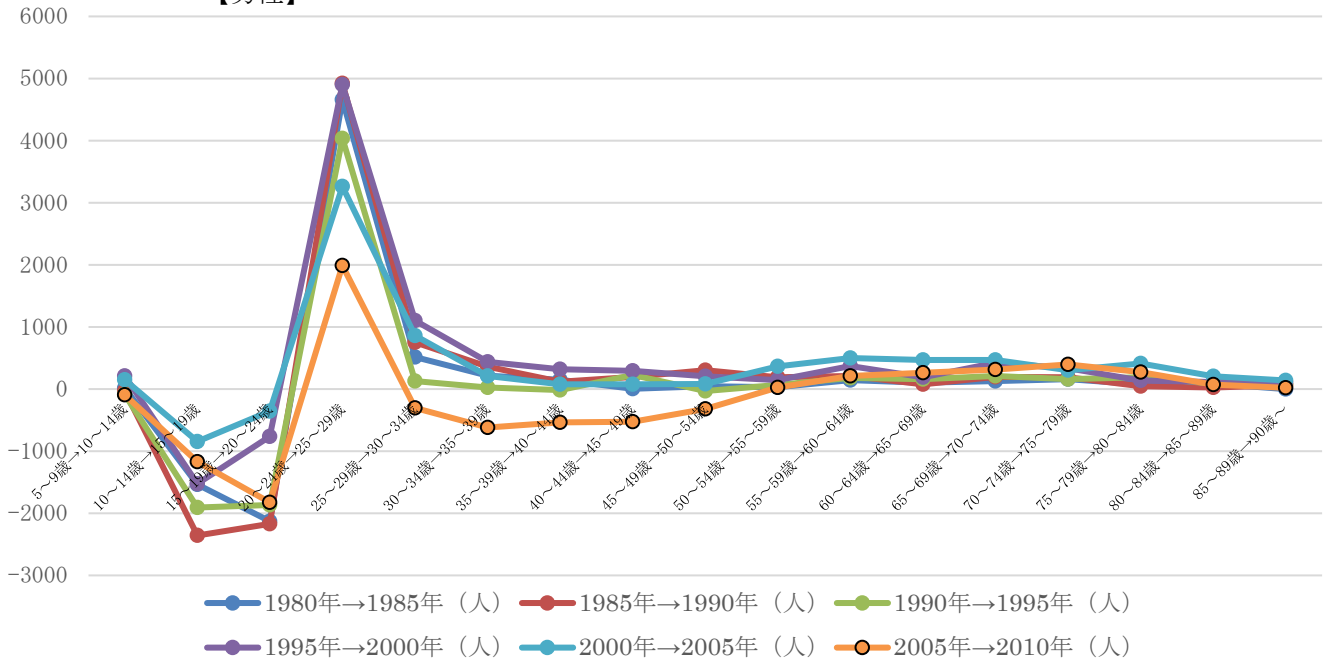
年齢階級別純移動

年齢階級別純移動数の推移をみてみますと、浜松市は大学進学時の「10～14歳→15～19歳」「15～19歳→20～24歳」に大幅な流出超、就職時の「20～24歳→25～29歳」に大幅な流入超となり、その後の増減は緩やかに推移する傾向がみられました。

ところが、最も新しいデータである「2005年→2010年」（オレンジ色）をみてみると、「20～24歳→25～29歳」の流入が過去と比較して少なく、その後50歳代前半まで流出超となっています。若年層の流入が減少し、勤労世代の流出する傾向が続けば、想定以上に人口減少が加速する懸念があります。

浜松市 年齢階級別純移動数の時系列分析

【男性】



浜松市 年齢階級別純移動数の時系列分析

【女性】

